

吉田 稔 筆

令和3年10月 No.138

● 編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域



創立40周年を迎えて

会長 青柳 直樹

増尾地域ふるさと協議会は本年で40周年を迎えました。1980（昭和55）年に「増尾近隣センター運営協議会」として発足、2003（平成15）年には市内協議会の名称統一にともなって「柏市増尾地域ふるさと協議会」に名称を変更。2006（平成18）年には、組織の違う増尾地域ふるさと協議会と土地区社会福祉協議会が1つになり、パワーアップした組織として発展を遂げてまいりました。

昨年1月頃、発生した新型コロナウイルスの爆発的な拡大により全世界で感染者が増加。ロックダウンや外出

禁止などの措置が取られましたが、今年に入ってもまだ終息には至っておりません。ほとんどが無観客のオリンピック・パラリンピックが東京で開催されましたが、当ふるさと協議会では、コロナウイルス感染第5波の影響でさまざまな事業を中止しました。「敬老のつどい」も残念ながら急遽中止となりましたが、参加の皆様にご披露するため準備をしておりました「敬老のつどいメッセージ」「敬老のつどい 秋山市長挨拶」をYouTubeで視聴いただけるようにしました。（QRコードを5ページに掲載）

このようにさまざまに情勢が変わる中においても、当ふるさと協議会は住民の皆さんが「増尾地域」をふるさとと思えるような事業を目指していきます。

ふるさと協議会活動に参加をして「ふるさと増尾」を一緒に考えていきませんか。皆様にご意見をお聞きしながら、更に楽しめる活動を目指して精進してまいります。

わたしのふるさと エリアマップ

増尾地域を地図で見ると、菱形に近い平行四辺形をしていて、2本の対角線の交点に増尾近隣センターがあり、長い方の対角線の位置に県道市川柏線が走っています。

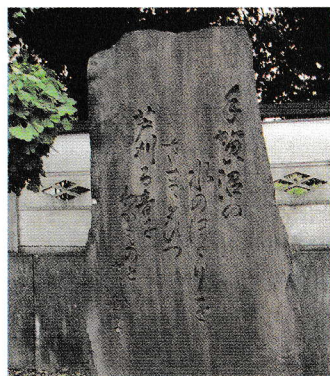
どれくらいの広さなのか、縁（へり）を1周歩いてみると、2時間10分、約1万6000歩、15キロの行程でした。青々とした田園には水がごうごうと流れ、郷土の歌人館山一子の「森よ野原よ小流よ」との詠嘆が今も響き渡っています。高台からの家並み、鉄塔の連なり、軒々の季節の花々。そして内側に目を向ければ、歴史ある神社仏閣、過去へと誘ってくれる史跡。

みなさんは増尾地域をご存じですか。

みなさんにとって増尾地域はふるさとですか。

増尾地域の文人

江口章子（えぐちあやこ）



明治21(1888)年－昭和21(1946)年、大分県生。歌人、詩人。北原白秋と互いに2度目の結婚そして離婚。後に夫となる増尾出身の僧侶中村戒仙との関係で一時期増尾に住む。離婚したがその縁で少林寺に歌碑が建てられた。小品『手賀沼の秋』

館山一子（たてやまかずこ）

明治29(1896)年－昭和42(1967)年、東葛飾郡土村逆井生。歌人。短歌結社『郷土』を創刊。土小、土中の校歌を作詞。逆井観音寺の境内に歌碑がある。

高島野十郎（たかしまやじゅうろう）

明治23(1890)年－昭和50(1975)年、福岡県生。洋画家。晩年、増尾の風景を気に入り居住。現在のきつね山歴史公園内にも画室を設けたことがある。代表作『月』『蠟燭』



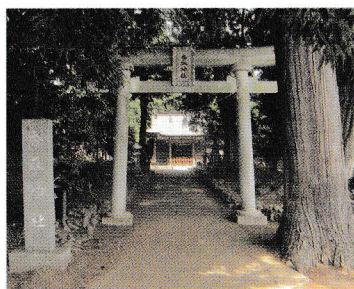
① 長屋門

武家屋敷門として発生した形式で、門の両側は住居や納屋などに使用。名戸ヶ谷には3か所現存している。



② 法林寺

瑞雲山。真言宗。創建は慶安3(1650)年。境内の大銀杏は柏市指定文化財(天然記念物)。樹齢は推定400年。600年とも。



③ 香取神社

創建不詳。境内には、かつて庚申の日に講を開き、功德を祈願して造立した多数の庚申塔や如意輪観音の石塔がある。



④ 増尾城址総合公園

中世の相馬氏一族に関係する城郭か。土塁や曲輪(くるわ)が残る。戦国期の小規模な軍事施設との説もある。



⑤ 妙見堂跡

昭和58(1983)年に妙見堂を壊し、妙見菩薩は萬福寺に移した。平成14(2002)年、本郷の跡地に記念碑を建立。



⑥ 廣幡八幡宮

創建は第59代宇多天皇(在位887-897)の代に鎮座されたと伝えられる。鎌倉時代に地方一帯の総鎮守として社殿を再建した。

増尾地域の名所・史跡



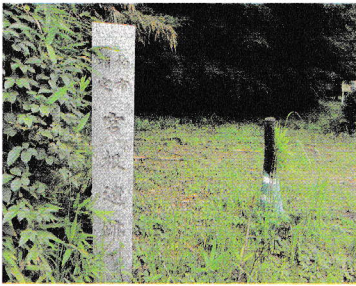
このQRコードから
①～⑫の名所・史跡の
詳しい説明がご覧にな
れます



	広域避難場所
	避難所兼避難場所

- あざみ町会
- 加賀町会
- 木戸前町会
- サンパセオ新柏アネックス管理組合
- サンパセオ新柏管理組合
- 白鷺町会
- 新柏三丁目自治会
- 新柏二丁目第一自治会
- 新柏二丁目第二自治会

- 第一住宅増尾団地自治会
- 東武なかはら団地自治会
- 名戸ヶ谷町会
- 増尾町会
- 増尾東映自治会
- 増尾東映第二自治会
- 増尾日立自治会
- 松野台自治会
- 南ヶ丘自治会



⑦ 宮根遺跡

柏市指定文化財(史跡)。舌状台地に所在する縄文・弥生・古墳時代の複合遺跡。竪穴式住居跡が埋め戻され保存されている。



⑧ 少林寺

増尾山。臨済宗。開山は永禄元(1558)年といわれる。一石五輪塔は南北朝の武将相馬重胤の墓と伝えられる。



⑨ 萬福寺

医王山。真言宗。寛永2(1625)年創建といわれる。木造漆箔の本尊、阿弥陀如来坐像は千葉県有形文化財。(写真は阿弥陀堂)



⑩ きつね山歴史公園

約3000坪の屋敷林。幸谷城館は16世紀初期の居城で、城主は相馬一族と推定される。伊藤家住宅主屋他は国登録有形文化財。



⑪ ニツカウヰスキー柏工場

東京工場が昭和39(1964)年開催の東京五輪の道路用地になったため、良質な水のある増尾に移転。昭和42(1967)年開業。



⑫ 妙蓮寺

慶長山。日蓮宗。慶長7(1602)年、本行院日元上人が開山。文久2(1862)年に庫裏を再建したとみられる。本尊は十界曼荼羅。

増尾地域の昔話



柏のむかし
ばなし
QRコード

■ 法林寺の大いちょう

越後の比丘尼が托鉢の途中、法林寺で受けたもてなしの礼にいちょうの実を置いていき、寺で大切に育てました。ある年、村が大飢饉に見舞われた時このいちょうの実を食べて飢えをしのぎました。

■ 名戸ヶ谷村のゆずの木

昔、ゆうという娘がゆずの木のとげで目が見えなくなりました。村の人はゆずの木を切り倒し、それから植えなくなりました。

■ 塩どっけ(塩とりかえ)

かつて増尾や名戸ヶ谷の台地には、松がうっそうと茂った林が続いており、「塩の道」という行徳への道がありました。人々は冬になると薪を集め、大事な塩と交換しました。

■ まれいど(馬洗戸)

まれいどは、相馬のお殿様の馬を洗った場所といわれています。馬の訓練をした馬場(ばんば)や馬と馬の世話をした人達が寝た場所という意味の根古屋(ねごや)が屋号で残っています。

■ 厄病おん出し

昔々、増尾村でたくさんの病人が出たことがありました。村の長老が厄病神を追い出すため、鎮守様の神輿を出して村中を歩いたところ病人がいなくなりました。

■ 鷲山のむじな

鷲山でおものおっかあが薪を拾っていると、むじなが背中では眠っていました。それ以来、春には筍やわらび、秋には松茸や栗が家の前に置かれるようになりました。

参考文献

- 『柏市史』 柏市史編さん委員会編
- 『柏のむかし』 柏市史編さん委員会編
- 『続柏のむかし』 柏市史編さん委員会編
- 『千葉県柏市民俗資料』 柏市教育委員会刊
- 『郷土かしわ(地理・歴史編)』 柏市教育委員会刊
- 『歴史ガイドかしわ』 柏市史編さん委員会編
- 『柏の風土記』 峯書房・相原正義著
- 『中世の豪族と村落—下総国相馬郡を中心として』 藪崎香著
- 『ウォーキングで探る増尾の歴史』 増尾ダイヤモンドクラブ刊
- 『柏の歴史よもやま話』 柏市民新聞社・浦久淳子著
- 『柏市立土小学校創立九十周年記念誌つち』
- 『柏市立土中学校創立五十周年記念誌土筆』
- 『柏市文化財絵地図』 柏市教育委員会
- 『柏のむかしばなし』 柏市教育委員会
- 『ふるさと柏のむかしばなしマップ』 柏市観光協会

増尾地域ふるさと協議会

10のQ&A

Q1 増尾地域ふるさと協議会（以下増尾ふる協）は、いつできたのですか？

増尾ふる協は、2003（平成15）年に前身の増尾近隣センター運営協議会（1980<昭和55>年発足）から名称が変更され現在に至っています。2006（平成18）年には、それまで別組織であった増尾ふる協と土地区社会福祉協議会が一本化され、よりパワーアップしました。

Q2 どのような目的でできたのですか？

ふるさと協議会は、昭和50年代のふるさと運動の地域コミュニティづくりを推進するために、各地域に設立された組織に端を発しています。現在、柏市には21のふるさと協議会があり、それぞれの地域の特性を生かした活動を行っています。柏市ふるさと協議会は「地域における住民相互の交流と諸活動を通して住みやすい地域づくりを推進する」を目的としており、増尾ふる協ではこの目的とともに「みんな元気 住んで良かった この地域」をモットーとして掲げています。

Q3 どの地区が対象ですか？

増尾・増尾台・加賀・東逆井・新柏全域と名戸ヶ谷のほぼ全域、逆井・亀甲台町の一部地域です。

Q4 どの町会が所属していますか？

あざみ町会・加賀町会・木戸前町会・サンパセオ新柏アネックス管理組合・サンパセオ新柏管理組合・白鷺町会・新柏三丁目自治会・新柏二丁目第一自治会・新柏二丁目第二自治会・第一住宅増尾団地自治会・東武なかはら団地自治会・名戸ヶ谷町会・増尾町会・増尾東映自治会・増尾東映第二自治会・増尾日立自治会・松野台自治会・南ヶ丘自治会などの18の町会、自治会、管理組合で構成されています。現在、会員数は6395（世帯）です。

Q5 どこで活動していますか？

増尾近隣センターを拠点としています。事務局はセンター1階にあります。

Q6 どのような事業を行っていますか？

広報紙やホームページなどの広報活動、文化祭・芸能発表大会・健康教室などの文化体育活動、ゴミゼロ運動・緑のカーテン（ゴーヤ苗配布）などの環境活動、防災訓練・救急救命講習会・年末夜間パトロールなどの防犯防災活動、敬老のつどい・地域ふれあいのつどい・子育てサロン・多世代交流コミュニティー・高齢者通いの場・見守り助け合い隊などの社会福祉活動を行っています。総務広報部、文化体育部、環境部、防犯防災部、地区社協部の5つの専門部会がこれらの事業を推進しています。

Q7 運営はどなたがしていますか？

増尾ふる協委員が運営をしています。委員は町会・自治会・管理組合の会長と推薦者、地域内の小・中学校PTA役員、民生委員児童委員、健康づくり推進員及び他団体の代表者、消費生活コーディネーターで、上記の専門部会のいずれかに所属し、部員として活動します。委員数は、現在101名です。

Q8 誰でも参加できますか？

地域活動に、興味と熱意をお持ちの方であれば、どなたでも参加できます。所属の町・自治会にお問い合わせください。

Q9 活動費はどこから出ていますか？

各町会・自治会・管理組合の分担金、柏市の補助金、柏市社会福祉協議会の助成金などによって賄われています。

Q10 今後の活動の目標は何ですか？

全ての世代が安心して安全な生活ができ「住んで良かった街」を実感できる地域づくりを目指しています。皆様のご協力をお願いします。

あなたのお力をぜひ地域の活動にお貸しください。



増尾地域ふるさと協議会ホームページ

このQRコードから、ふるさと協議会の活動や地域の皆様に役立つ情報などがご覧になれます



「敬老のつどい」お祝いメッセージ

このQRコードから、「敬老のつどいメッセージ」と「敬老のつどい 秋山市長挨拶」がご覧になれます

柏市増尾地域ふるさと協議会 40年のあゆみ

年 度	内 容	町会数	年 度	内 容	町会数
1980年	増尾近隣センター運営協議会発足 16町・自治会代表と団体代表、学識経験者で構成 増尾近隣センター運営委員会誕生 上記協議会より委員を選出。広報部・福祉部・文化 部・保健体育部の4部で活動	16	2011年	文化体育部 スポーツ・レクリエーション大会 環境部 緑のカーテン普及事業 役員講習会 環境フェアパネル展 エコキャップ収集 ※協力事業 ゴミゼロ運動 環境美化活動 防犯防災部 年末夜間パトロール 地区社協部 ボランティア体験学習 地区懇談会 地域ふれあいのつどい 料理教室 敬老のつどい アロマ講座 消費生 活講座 地域福祉視察研修 障がい 者団体との懇談会 在宅高齢者支援 文化体育部、地区社協部共催 グラウンドゴルフ 大会 芸能発表大会	
1981年	機関紙『ふるさと』第1号発刊(6000部) 増尾近隣センター落成記念式典開催	16			
1982年	柏サンハイツ自治会が加盟	17			
1983年	東武なかはら団地自治会が加盟	18			
1986年	逆井藤心ふるさとづくり協議会設立により藤心地区 6町・自治会退会	12			
1988年	環境部創設	12			
1989年	新柏二丁目第一自治会と新柏三丁目第一自治会が加盟	14	2012年	土小学校避難所運営委員会設立 <新事業> 総務広報部 ホームページ立ち上げ 文化体育部 ちいき探検ウォーキング 芸能発表大会独自開催 環境部 環境施設見学会	18
1991年	増尾近隣センター運営協議会創立10周年記念式典開催	14			
1993年	サンパセオ新柏自治会が加盟	15			
1994年	「増尾近隣センター運営協議会」とし、組織を一本化 予算・事業の審議を運営協議会、実行を運営委 員会としてきたが、より円滑な活動を図る目的。 総務部、広報部、保健体育部、文化部、福祉部、 環境部で活動	15	2013年	3地区(光ヶ丘・酒井根・増尾)合同防災訓練実施 「増尾ジェンヌの会」スタート <新事業> 文化体育部 新春囲碁将棋大会(8年ぶりの開催) 地区社協部 つくってあそぼ	18
1995年	策定地域指定を受け「増尾コミュニティー地区計画 策定委員会」設置、計画書を提出	15			
1998年	新柏二丁目第二自治会が加盟	16			
2001年	増尾近隣センター運営協議会創立20周年記念式典開催	16	2014年	地区別健康福祉活動第Ⅲ期5か年計画スタート 多世代交流コミュニティー「サロンつちのこ」スタート 土中学校避難所運営委員会設立 増尾西小学校避難所運営委員会設立 中原県営住宅自治会退会 <新事業> 総務広報部 ふるさと協議会推進事業(ポイントカード) 文化体育部 ホタル見学会 園芸講座	17
2003年	市内協議会名称統一にともない「増尾近隣センター 運営協議会」から「柏市増尾地域ふるさと協議会」 に名称を変更 運営協議会が行ってきた福祉事業は土地区社会福 祉協議会へ。あらたに厚生部を設立。総務部、広報 部、保健体育部、文化部、厚生部、環境部で活動	16			
2005年	防犯防災準備委員会発足 3地区(光ヶ丘・酒井根・増尾)合同防災訓練実施	16	2015年	17町・自治会合同増尾地域災害訓練実施 柏南高校避難所運営委員会設立 「ペレニアル花俱樂部」スタート <新事業> 総務広報部 高性能トランシーバー交信訓練	17
2006年	柏市増尾地域ふるさと協議会(土地区社会福祉協議 会)の誕生 母体の違う2つの組織を一本化して地域活動の活 性化を図る。総務広報部、文化体育部、環境部、 防犯防災部、地区社協部の5部で活動 「子育てサロン増尾」オープン	16	2016年	柏市防災、17町・自治会合同防災訓練実施 「ペレニアル花俱樂部」カシニワフェスタ初参加 多世代交流コミュニティー「サロンますのこ」スタート	17
2008年	「子育てサロン加賀」オープン	16			
2009年	増尾日立自治会が増尾町会より独立して加盟 千葉県より福祉教育推進団体に指定(3年間)	17	2017年	全国社会福祉協議会会長賞受賞 ペット同行災害訓練実施(柏市と共催) 「増尾地域見守り助け合い隊」スタート	17
2010年	<新事業> 防犯防災部 救急救命講習会	17	2018年	高齢者通いの場「コミュニティーのこのこ」スタート 中原中学校避難所運営委員会設立 <新事業> 文化体育部 川柳講座	17
2011年	柏市増尾地域ふるさと協議会創立30周年記念式典開催 ふるさと協議会初めての防災訓練を土小学校で実施 中原県営住宅自治会が光ヶ丘ふるさと協議会より加盟 <各部事業> 総務広報部 総会 執行部会 役員会 視察研修 創立30周年記念誌発行 広報紙発行 (7500部) 文化体育部 ちびっこ体操教室 健康教室 文化祭	18	2020年	新型コロナウイルス感染拡大のため、ほとんどの事 業が中止となる サンパセオ新柏アネックス管理組合が加盟	18
			2021年	柏市増尾地域ふるさと協議会40周年記念号『ふるさ と』発行(7500部)	18